

- ▶座談会「キリスト教学校における平和教育とSDGs」
(1～4面)
- ▶加盟校動静、公募
(3面)
- ▶キリスト教教育者物語
(4面)
- ▶聖書のことは
(〃)
- ▶行事予定
(〃)

キリスト教学校教育6

2022・2023年度教研テーマ
希望と喜びに生きる―新たな転換期に立つキリスト教学校

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 康太
編集人 田村 浩一
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

新型コロナウイルスの感染拡大によって、様々な生活環境や教育環境の変化が求められてすでに2年が経過し、教育環境からみると、多くの学校でオンライン授業などを余儀なくされ、半ば強制されて教育のICT化を進めざるを得なくなっている。

マスクを掛けることが普通となり、初めて出会う方の顔が分からない、特に新入生の顔がなかなか覚えられない。生徒から見ても、教職員の顔が分からない。学外で出会ったときに、果たして互いに認識できるのか、不安である。時には少し離れてマスクを外し、お互いの顔を確かめることも必要なのではないかと思います。

キリスト教学校教育同盟でも、この2年間、様々な研修会や協議会が、中止となったりオンラインとなったりで、互いの交流が妨げられているのではと懸念される。

同盟では振興助成制度を設けており、本年度は総額600万円の予算を計上して、各法人に申し込みを要請している。過去2年間は、コロナの影響でほとんど応募の申し込みが無く、せっかくの企画であるのに残念である。本年度は締め切りが6月11日となっている。ぜひ多くの申し込みを期待したい。

さて本年度、同盟の第110回定時総会が、6月3日・4日に横浜共立学園を会場に開催される予定であ

定時総会歓迎メッセージ

ようこそ横浜共立学園へ



坂田 雅雄

る。横浜共立学園は、2016年から6年間かけて創立150周年記念事業として、校舎等再整備計画を実施した。かなりの無理を承知で、横浜市に都市計画提案を行い、用途地域の変更を申請し、建築許可を得ての事業であったが、2022年3月末で工事は終了した。

今回の同盟総会では、同盟に深く関わってこられた湊晶子先生、平塚敬一先生に講演をお引き受けいただいた。多くの方々に会場での参加をお願いしたいと考えている。コロナ対策には十分に配慮し、総会は1,200人収容可能な礼拝堂で行う予定である。また食事場所は、3月に完成した西校舎のアリーナを使用し、密を避けることに配慮している。

本学園は中高一貫校であり、生徒総数1080名と、比較的小規模の法人であり、今回のオンライン併用Zoom配信には苦慮しているのが現状である。オンライン授業にはZoomを使用していないためである。

以前の同盟の総会では、会議とは別に、休憩時間などに互いの情報交換や親しい交流があり、それは総会の大事な要素でもあった。オンライン会議では、個人的な会話や交わりが困難であり、全国のキリスト教学校法人の会合としてはとても残念なことである。今年度はぜひ会場で皆さんと親しい交わりができるようにと願っている。

〈横浜共立学園理事長、教育同盟理事〉

SDGs 各校の取り組みを紹介

司会 本日はお集まりいただきありがとうございます。本紙3月号で「キリスト教学校における平和教育とSDGs」の取り組みについてのアンケートを実施致しました。広報委員会では、アンケート結果を踏まえ、先方から、さらに具体的な各校的取り組みをお伺いし、SDGsの光を通して、今日のキリスト教教育や建学の精神の実践についてのヒントを得られればと思います。座談会を企画した次第です。まず、各校のSDGsの取り組みを、ご紹介いただけますでしょうか。

栗原 宮城学院女子大学では、SDGsに特化して具体的に取り組むことはまだ議論が始まったばかりですが、これまで大学として行ってきた事柄の中には、実質的にSDGsに含まれていることがいろいろとあります。国際交流委員会では2022年3月に「SDGsバーチャルキャンプ」を行いました。これはフィリピン・タイ・シンガポール・カンボジアとオンラインで、学生のモチベーションを高める上で大事な

オンライン座談会 キリスト教学校における 平和教育とSDGs

ことだと思えます。

また本学が取り組んでいることとしてトランスジェンダー女性の迎え入れということがあり、性である場合には性別が診断書を求めることではないという方針です。これは目標5の「ジェンダー平等」や目標10の「人や国の不平等を無くす」とに係わることになり、この方針が正式にポリシーとなったのは2019年9月に出した「共生のための多様性宣言」で、年齢、信条、性

自認等を問わず、個人の多様性と人権を尊重すると約束しました。トランスジェンダーを特別扱いしたわけではなく、すべて多様な人を受け入れる中に含まれる形にしました。その準備には、教職員や学生に対しての説明・理解を得るため3年半ほどのプロセスがかかりました。幸いにも学内では前向きの方が多く、同窓会からも強いサポートが得られました。概して学生の方がLGBTに関して理解があります。ただ、その後コロナ禍で学内の立ち入りが制限されてしまったこともあり、現在も試行中という感じがします。今はユニセックスのトイレ環境などを整えています。

キリスト教の立場からこの件を考えることとして、本学では毎年6月にキリスト教教育特別集会を開催し、社会で活躍しているキリスト者の方をお招きして話をうかがっています。昨年はMや貪欲、神の恵みの乱用というものがよく表れて、女性の聖公会司祭の先生に講演をお願いしました。その他キリスト教関連すべき事項であり、取り組んでいくことができれば、SDGsというこ

〈出席〉(発言順・敬称略)

栗原 健
宮城学院女子大学宗教センター長

松井信行
恵泉女学園中学・高等学校副校長

堀岡満喜子
北陸学院中学校・高等学校校長

田村一秋
聖学院小学校教頭
聖学院幼稚園園長

〈司会〉
豊川 慎
関東学院大学准教授・大学宗教主事
教育同盟広報委員



北陸学院「Mission Standard 2030」47のアイコン。
右のQRコードまたは(学)北陸学院ホームページ
<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/>から閲覧可能。



で、園芸の授業は中学1年生と高校2年生が必修です。畑で野菜や花を、種まきから食べたり飾ったりするまでを行っています。その中でSDGsにわかりやすい関連をしているのは堆肥作りでしょうか。中学2年生は山梨県清里キープ協会で牛の世話をする行事があり、牛舎清掃で牛糞から堆肥を作り、校内の畑に播いていきます。生徒は自分たちで集めた牛糞が堆肥となり、間接的に自分が食べているところまで理解します。園芸の授業はSDGsに特化した授業で(2面につづく)

(3面よりつづく)

う見えているか気になり始め、これでは恥ずかしい、ちゃんとしなきゃと感じるようになります。しかし、キリスト教学校では、聖書の話毎日聞くことによって、何かそこに大切なメッセージを感じたり、これはいけないという善悪の判断基準が感覚的には分かっているかもしれません。ですから小学生は行動に結びつけるような伝え方がいいのかなと思います。

キリスト教教育者物語

92

「神への信仰の他は」

立教女学院草創期の導き手 ジョン・マキム主教

立教女学院は、145年前に米國聖公会宣教師C. M. ウィリアムズ主教によって創立されました。ウィリアムズ主教は、先ず築地居留地の一角に「男子学校(立教学校)」を148年前に設立、さらに女子教育の必要性を感じ、3年後の1877年、本郷湯島に「立教女学校」を開校しました。しかし関東大震災(1923年)により、当時築地にあった立教高等女学校は、その学舎を失います。来年は、関東大震災から100年となりますが、本校もその困難を乗り越えて、現在の久我山の地で復興することができました。ここには女学院の今後の発展と向上のため尽力された多くの人たちの働きがありました。



聖マーガレット礼拝堂聖別式
(1932年3月28日)
中央にマキム主教

齋藤英樹へ立教女学院院長へ

源には何があるのかということが好きになれない。てしまった。良いことを他人と比べると、他人がしたいのだけどずれてしまふ。けれども神さまは必ずあなたとともにいると約束しているのが聖書だよ」ということです。栗原 私は大学1年生の授業を担当しています。私が学生に話すのは、「人間は神の形として大切な存在として作られた。しかし的外れになつたとおりだと思います。河



誕生日献金の様子(聖学院小学校)

井道が言っているのも自己肯定感を高めることが平和に結びつくということとです。コロナ禍で生徒たちは「自分はだめだ」と「自分は何もできない」と言います。ですから自己肯定感を高めること、自分はこれでいい、自分は守られ認められて

よ」と答えるとすぐ驚かれます。そう考えている親は、わが子を自分の描いた理想の型にはめておきたいと思えます。河井は繰り返して平和の大切さを説きましたが、その根本はやはり神との平和であると。それがあつて初めて家庭の平和からさらに国際まで同心円的に拡がっていくと言えます。まず神との平和を考え、私たちの罪の問題を深く考え、人間とは何ぞい、そこら本當の意味での平和を積み上げていくことが重要なのではないかと座談会を通じて改めて考えさせられました。本日はどうもありがとうございました。本日はどうもありがとうございました。

聖書のことば



岩井 基 雄

神の愛と恵みの豊かさの両方に目を向ける重要性が語られます。苦悩や悲しみの中で自分の罪を認め、神の愛と恵みに身を委ねるとき、人は初めて神に生かされるのです。

神の愛と恵み、私たちの救いと希望は、キリストの受肉と受難、そして復活の勝利や聖霊の愛にあらわされています(ローマ人への手紙4章25節～5章5節)。どんな苦難や困難の中にあっても、私たちの下にはまさに永遠の腕があるのです。

哀歌の時代のイスラエルの民の苦難は相当なものだったでしょう。しかし現代の私たちを取り巻く状況も、コロナ禍や戦争の問題など不穏なものに満ちています。このような時代であるからこそ、私たちは主である神からの招きや問いかけを受け止め、共に神に向かい、信頼する必要があります。特に思春期や青年期の学生たちと共に、この世界の痛みや悲しみに目を留め、そこから目を背けることなく神への祈りを深め、キリスト者として何ができるのか考え行動する者とさせていたいただきたいと願っています。

〈玉川聖学院 聖書科講師〉

「主は、たとえ悲しみを与えてとしても、その豊かな恵みによって、人をあわれまれる。主が人の子らを、意味もなく、苦しみ悩ませることはない」

(哀歌3章32～33節 新改訳2017)

哀歌には、南王国ユダの滅亡と神の民の罪を嘆く歌が綴られています。目の前の苦難が果てしなく大きく、立ち向かう自分はあまりにも弱く、愚かなものだと感じるとき、私たちはしばしば絶望に陥ります。しかし、私たちに対する神のご計画は私たちの思いをはるかに超え、神の愛は、私たちの弱さや愚かさに決して妨げられることはありません。

己が罪深く、惨めな存在であることを自覚し、自分の力に頼らず、神に信頼し委ねるなら私たちは強くされ、逃れる道も与えられます。「自分の悲惨を知らずに神を知ると人は傲慢になり、神を知らずに自分の悲惨を知ると人は絶望に陥る」というパスカルの言葉があります。自分の愚かしさや罪の現実と、全能者なる

事務局だより

コロナ禍が3年目となり感染対策と日常生活が綱引き状態の日々です。各学校は対策をとりつ

つ、宿泊行事を含めて学びを止めない為にご苦労されています。6月の定時総会では会場出席を緩和し、オンライン出席との併用を予定しています。ウクライナとロシアの争いが長期化しています。戦争こそ最大の暴力であり環境破壊です。今号の座談会記事「平和教育とSDGs」、皆様も是非一読下さい。平和を祈りつつ。

<行事予定>	
オンライン併用、オンラインのみの場合もあります。	
7/23	第66回事務職員夏期学校(オンライン)
8/2~4	第9回中堅教員リトリート
(捜真学院御殿場自然教室)	
8~9	第7回全国災害支援連絡会議
(宮城県仙台市、石巻市、南三陸町)	
16~18	第2回教員リフレッシュ研修
(奈良県洞川温泉)	
17~19	第55回全国聖書科研究集会
(鎮西学院大学)	
22	第12回中堅事務職員リトリート
(オンライン)	
26	第9回大学新任教員研修会(オンライン)
29	第8回全国事務局長・事務長会議
(オンライン)	

事務局長